



子どもへ渡す未来へのバトン

夢こども基金 ニュース

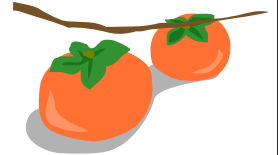
夢こども基金

No.10

2006/12/10

発行編集者 特定非営利活動法人 石川こども環境教育学習基金
発行責任者 代表理事 青山 幸司
〒921-8034 金沢市泉野町4丁目9番5号

TEL&FAX: 076-245-9450
URL <http://yumekodomo.yupapa.net/>
E-mail: yumekodomo@yupapa.net



手取川で親子ハゼ釣りとおゴミ拾い



KFC ふれあいクラブは、9月24日(日)、白山市美川大橋周辺で、親子で参加するハゼ釣りとゴミ拾いを開催しました。(共催;白山市、後援;美川ライオンズクラブ他)参加者約300人)

今年は晴天に恵まれ、朝早くから集まった親子連れは手取川に釣り糸を垂らし、ハゼ釣りを楽しみました。また、途中で全員一斉に会場周辺のゴミ拾いをし、上流から流れてきたゴミや海から流れ着いたゴミを集めました。

さらに、釣れたハゼはその場で天ぷらにしてもらい、野菜の天ぷらと一緒に昼食のおかずになりました。



最後には、このイベントに協賛した地元企業やボランティアグループが提供した商品を使ったジャンケン大会でお菓子の配布も行われました。

紙のリサイクルで種ハガキ作り

金沢エコライフくらはは10月8日(日)、「もったいないフェスタ金沢2006」(主催;金沢市)において、段ボール紙リサイクルによる種ハガキ作りと割り箸クラフト体験を出展しました。

種ハガキ作りは、溶かした段ボールに種を漉き込んで作るもので、土に埋めると、種から芽が出て花が咲くものです。また、割り箸クラフトは使用済みの割り箸を使って割り箸鉄砲や鍋敷きなどを作るものです。

どちらの環境教育プログラムも金沢エコライフくらはが開発したもので、今年度整備した環境教育出前リストに載っており、小学校や少連からの依頼で出前授業を行っています。



敬老会でヨシ笛を演奏

津幡の水辺を守る会は、10月22日(日)津幡町の条南小学校で開催された敬老会において、今年75歳になる老人二百数十人の前でヨシ笛とギター演奏を披露しました。

当日は、幼稚園児の歌やボランティアによる手品、歌謡ショーとともに「ふるさと」や「もののけ姫」などのレパートリーを上演したもので、参加したお年寄りに自然の音色を楽しんでもらいました。

いしかわ自然学校祭りに参加

金沢エコライフくらぶは 10 月 28 日（土）いしかわ自然学校まつり in 夕日寺（主催；いしかわ自然学校事務局）に参加しました。

おでんと五平餅の販売にリサイクル食器と排水浄化装置（みずすまし屋）を組合せ、食器ゴミを出さずに環境にやさしい食器洗い体験学習を提供しました。

従来型のイベントでは紙コップや紙皿、割り箸等のゴミがたくさん発生し、洗浄水の無駄遣いが見られます。しかし、今回の展示システムはこれらを克服しており、参加した他の団体も巻き込んで環境保全型の活動の姿を紹介してくれました。



なん水辺公園に集合し、透視度を測定した後で、全員で一斉にパックテストにより COD（化学的酸素要求量）等の水質分析を行うものです。

また、今回は、野鳥の専門家の中川富男さん（日本鳥類標識協会 会員）に河北潟周辺の野鳥について、スライドを用いてお話をいただきました。

子どもたちのふりかえりには、ゴミが多かったことでクリーン作戦にも参加してみたいことや、汚れていると思っていた河北潟の水が意外ときれいだったこと、野鳥の話が楽しかったこと、また参加したい等の感想が書かれてありました。

なお、夢こども基金では、傷害保険料とおやつのかき芋用サツマイモの購入費を支援しました。

小学生による河北潟の水質調査

いしかわ水辺再生研究会は、11 月 23 日（木）津幡の水辺を守る会等と協力して、「第 5 回河北潟一斉水質調査」（主催；河北潟自然再生協議会、共催；グリーンアース河北潟、後援；河北潟水質浄化連絡協議会）を実施しました。

この活動は河北潟周辺の 2 市 2 町の小学校から児童が参加して、平成 14 年から毎年勤労感謝の日に行われており、5 回目となる今回は 2 市 1 町の小学生 38 人と大人 18 人の 56 人が集まりました。

調査方法は、当日、小学校に集まった子どもたちが、河北潟の水をペットボトルに汲んで、金沢市こ



（平成 18 年 11 月末現在）

●基金の概要

個人正会員数	企業正会員数	団体正会員数	登録団体数
38 名	12 社	—	10 団体
企業正会員名	(株)アルテ島田、石川総合管理(株)、税理士法人泉が丘会計センター、(株)植宗園、(株)カワチオート (株)グルーヴィ、(株)ジャテック、(株)テレビ金沢、(株)プラスト、 (有)プラントインジニアリング 増田事務所、(株)ミルコン金沢支店、(有)柚木草花園		

【編集後記】平成 18 年の活動もほぼ終わりですが、継続的な活動を続けるには反省と休養が重要です。自然の植物や生き物は本格的な冬を迎える前に冬支度を終え、来年の春にはすぐに動けるように既に準備しています。夢こども基金も一番のお客様である子どもたちと、ご支援をいただいている会員の皆様に満足いただけるような活動であったかを反省し、来年の活動に向けて準備に入ろうとしています。

（事務局）